

2022年4月26日  
東京電力ホールディング株式会社  
福島復興本社

# 「福島復興への責任を果たすために」

～ 福島復興へ向けた取り組み ～

**TEPCO**

---

〔第15版〕



## 目次・本資料(写真集)について

---

1. 福島復興本社について〔福島復興本社代表あいさつ、組織体制〕	2
2. 福島復興本社の歩み	3
3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向	4～6
4. 福島復興本社の2022年度の主な取り組み予定	7
5. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生・復興推進活動】	8～11
6. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生活動】	12～14
7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】	15～21
8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】	22～33
9. 原子力損害賠償に関する取り組みの概要	34
10. 雇用創出等福島復興に資する取り組み	35～37
11. 東京電力廃炉資料館	38～39
12. 福島復興へ向けた活動実績	40～42
(参考) 福島復興へ向けた取り組み“アーカイブページ”のご案内	43～44

### 本資料(写真集)について

本資料は、福島復興本社設置(2013年1月)以降、代表定例会見等でお知らせしている各取り組みについて改めてとりまとめました。掲載内容は、ある程度コンパクトに編集しておりますので、本資料の最後にご案内しております当社HPからも是非ご覧ください。

# 1. 福島復興本社について

## 福島復興本社代表あいさつ



福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の事故から11年余りが経過しました。今もなお、発電所周辺地域の皆さま、福島県の皆さま、そして広く社会の皆さまに大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

今春、特定復興再生拠点区域の避難指示解除が葛尾村・大熊町・双葉町で予定されており、来春には富岡町・浪江町・飯館村において予定されております。

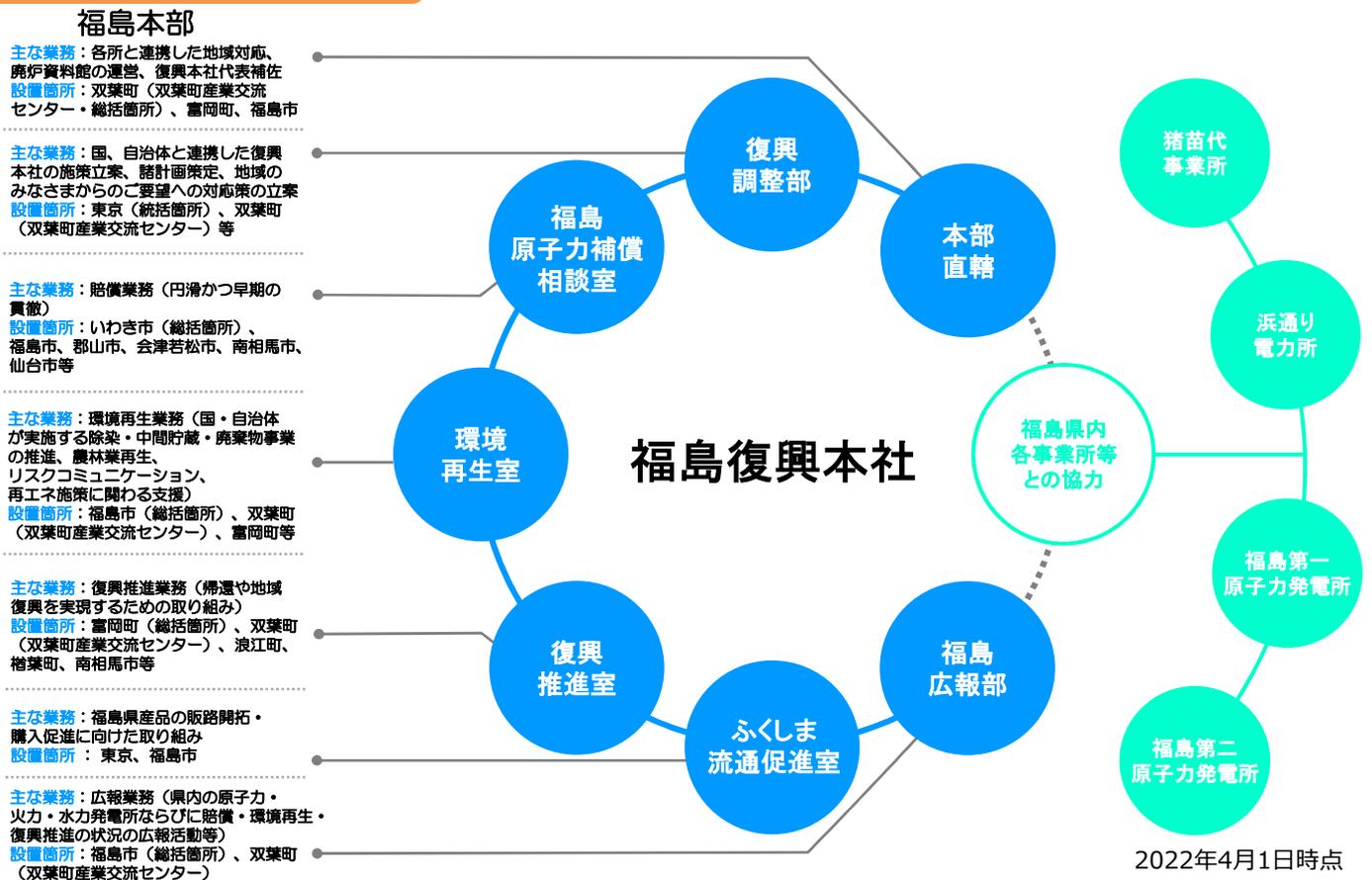
私も福島復興本社の存在意義は、被災された方々の苦しみを常に忘れず、社員一人ひとりが地域の皆さまの声を謙虚に伺い、一つ一つの行動を積み重ねることに尽きると思っております。そうした地道な活動を通じて、信頼の回復に向けて一歩一歩、歩んでまいります。

当社は「福島への責任を果たす」ために存続を許された会社です。11年の年月が経とうとも、そのことはいささかも変わるものではありません。これからも福島復興に向けて全身全霊で取り組んでまいります。

2022年4月

福島復興本社代表 **高原 一嘉**

## 福島復興本社の組織体制



## 2. 福島復興本社の歩み

- 2011年3月31日“福島原子力被災者支援対策本部”設置
- 2013年1月に上記を改編し、“福島復興本社”を設置。以降、一層地元に着目して福島復興の責任を全うし、地域に貢献するため活動



- 2013年1月1日に福島県双葉郡の“Jヴィレッジ”に福島復興本社を設置
- 当社復興推進業務等の拠点であると同時に、廃炉作業の前線基地としても使用



- 2016年3月7日より、福島県双葉郡富岡町にある当社基幹事業会社、東京電力パワーグリッド株式会社の“浜通り電力所内”に移転
- 避難指示解除や地域の皆さまの帰還に先駆け移転し活動を開始



### (関係施設) アーカイブ施設の設置

- 2018年11月30日、福島県双葉郡富岡町にある当社エネルギー館を改装し、“東京電力廃炉資料館”を開館
- 福島原子力事故の記憶と記録・反省と教訓そして廃炉事業の現状などを社内外に伝承することを目的に設置



- 2020年10月26日より、福島県双葉郡双葉町の“双葉町産業交流センター”へ移転

地域の復興・帰還に先立ち、浜通り地域に機能・要員を集中



### 3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

【凡例】●環境再生活動 ●復興推進活動 ●流通促進活動 ●その他(復興へ向けた取り組み等)



### 3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (平成31・令和1年)	2020年 (令和2年)
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 3月 川俣町・浪江町・飯舘村</li> <li>◆ 4月 富岡町</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 4月 大熊町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 3月 双葉町</li> <li>◆ 3月 特定復興再生拠点区域の一部※(大熊町・双葉町・富岡町) ※ 帰還困難区域内</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 3月 面的除染完了(国直轄)</li> <li>◆ 5月 福島復興再生特措法の改正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 3月 全ての面的除染完了(帰還困難区域を除く)</li> <li>9月 東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)の開所→ ◆</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 4月 Jヴィレッジ全面再開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 3月 JR常磐線全線再開</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 5月 新々・総合特別事業計画認定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 11月 廃炉資料館の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月 福島復興本社の移転→ ◆ (双葉町 双葉町産業交流センター)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 7月 福島第二原子力発電所の廃炉決定</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 2月 ふくしま流通促進室の設置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>7月 福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局の設置→ ■</li> <li>10月 浜通り廃炉産業プロジェクト室の設置→ ■</li> <li>■ 5月 一般作業服エリア拡大(敷地内約96%)</li> <li>■ 2月 2号機原子炉内部調査(デブリ確認)</li> <li>■ 3月 陸側遮水壁の運転開始</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3月 福島送電の設立、新福島変電所の設備改修工事竣工</li> </ul>	 <p>新福島変電所(富岡町)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2月 新型コロナの影響で県外からの復興推進活動への派遣中断</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1月～ 楡葉町「天神原湿原」再生・保全に対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 8月～ 仮置場の原状回復に向け対応</li> <li>● 12月～ 特定復興再生拠点区域除染工事に対応</li> </ul> </li> <li>● 4月～ サツマイモ栽培・収穫等に協力(楡葉町)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4月～ 緑肥栽培試験の実施(農地の地力回復等)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2月 新型コロナの影響で県外からの復興推進活動への派遣中断</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2.3月 学校からの思い出の品持ち出しへの対応(大熊町)</li> <li>● 7月～ 酪農再開に向けた牛舎清掃等に対応</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 10～12月 台風19号・豪雨発生後の地域へ協力</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月～ 葡萄圃場整備等に協力(川内村)→ ●</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 10～12月 台風19号・豪雨発生後の地域へ協力</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 8月～ LINE「ふくしま応援隊」を開設</li> <li>● 10月～ 発見!ふくしまキャンペーンを年1回開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 10～12月 台風19号・豪雨発生後の地域へ協力</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>12月 LINE「ふくしま応援隊」友だち登録数が100万人到達→ ●</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 10～12月 台風19号・豪雨発生後の地域へ協力</li> </ul>

### 3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年) ~ 4月
<p>11月 葛尾村 準備宿泊開始 → ◆</p> <p>12月 大熊町 準備宿泊開始 → ◆</p>	<p>◆ 1月 双葉町 準備宿泊開始</p> <p>4月 富岡町 準備宿泊開始 → ◆</p>
<p>◆ 7月 とみおかアーカイブ・ミュージアムの開館</p> <p>◆ 10月 震災遺構浪江町立請戸小学校開館</p> <p>3月 除染土壌等の輸送完了(96%)→ ◆</p>	
<p>◆ 10月 除染推進室から「環境再生室」への名称変更</p>	
<p>◆ 8月 第四次総合特別事業計画認定</p>	
<p>◆ 7月 FIT制度適用に伴い得られた収益の一部拠出 (猪苗代水系 金川発電所)</p>	
<p>■ 4月 処理水海洋放出の政府方針決定 (以降、当社会見、関係自治体等への説明開始)</p>	<p>■ 1月 2号機原子炉格納容器内部調査 ロボットアーム搬入</p> <p>■ 2月 1号機原子炉格納容器 内部調査開始</p> <p>■ 12月 地質調査開始(海上ボーリング調査)</p>
<p>● ● 5月「かつらおやぎ広場がらがらどん」のオープン（5/29）に向けたお手伝い</p> 	<p>● ● 7月 福島復興へ向けた活動実績 累計100万人到達（7/21）</p>
<p>● ● 7月 福島復興へ向けた活動実績 累計100万人到達（7/21）</p>  <p>営農再開のお手伝い</p>  <p>除染への協力</p>	
<p>● ● 8月 【東京2020オリンピック関連】 JA全農福島様による2カ国大使館への「福島県産の桃」贈呈</p>	
	<p>● ● 10月 雑草抑制・景観向上のためのカバープランツ共同調査</p> <p>● ● 10月～ 発見!ふくしまキャンペーンを年1回開催</p>
 	 <p>● ● 11月～ 準備宿泊に向けた生活基盤整備のお手伝い</p>

## 4. 福島復興本社の2022年度の主な取り組み予定

2022年

■：環境再生活動 ■：復興推進活動 ■：流通促進活動 ■：その他活動 ★：避難指示解除に向けた動き

春

- 特定復興再生拠点区域（以下「拠点区域」という）の避難指示解除に向けた準備宿泊等の生活基盤整備のお手伝い ※年間を通して実施予定
- 放射性物質汚染対処特措法に則り国・自治体実施する除染、中間貯蔵、廃棄物・リサイクル等に係わる事業の人的・技術的協力 ※年間を通して実施予定

★4/11 富岡町 拠点区域準備宿泊開始

★春 葛尾村、大熊町 拠点区域避難指示解除予定

- 春の地域イベントのお手伝い  
〔 4/9春の坂下ダムウォーキング、4/9-4/10 富岡桜まつり2022 〕

■ 「発見！ふくしま」春の販売イベント

4/27 道の駅ふくしまグランドOPEN 福島食材を使用したキッチンカー出店  
5/21～22 四季の里（福島県）での福島食材を使用したキッチンカー出店※  
5/27～29 万博記念公園（大阪府）でのお魚まつり 常磐ものPR※

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により延期の可能性あり

- 雑草抑制・景観向上のためのカバープランツ共同調査（浪江町）
- 天神原湿原回復に関する技術協力（楡葉町）



準備宿泊に向けた取り組み



富岡桜まつり2022



カバープランツ共同調査



ふくしまの桃販売



「発見！ふくしま」キャンペーン



地域の特産品づくり



地域イベントへ当社ブース出展

★6月以降 双葉町 拠点区域避難指示解除予定

■ 「発見！ふくしま」ふくしまの桃の販売会（7月～9月）

■ 夏の地域イベントのお手伝い

■ お盆・お彼岸に向けた墓地除草のお手伝い

■ 「発見！ふくしま」キャンペーン（10月～12月）

■ 「地域の特産品づくり」のお手伝い

■ 秋の地域イベントのお手伝い

★秋 浪江町、飯舘村 拠点区域準備宿泊開始予定

2023年

冬

■ 「発見！ふくしま」新年の福袋販売イベント

■ 新年の地域イベントのお手伝い

■ 戸の口堰第二発電所運転開始（2023年1月予定）

■ 戸の口堰第三発電所運転開始（2023年3月予定）

★来春 富岡町、浪江町、飯舘村 拠点区域避難指示解除予定

福島のために何が出来るかをこれからも考え続け、「福島への責任の貫徹」を胸に社員一丸となってその使命を果たしてまいります。

## 5. 福島復興へ向けた取り組み 環境再生・復興推進活動

### 「かつらおヤギ広場」のオープンに向けた取り組み

#### 取組内容

- 福島県相双農林事務所と葛尾村より要請をいただき、「かつらおヤギ広場がらがらどん」のオープン(2021年5月29日)に向けたお手伝いを実施しました。
- 2017年12月より村内で試験飼育していたヤギの試料(敷料・飲用水・ヤギ糞など)を採取・放射能濃度分析や広場の空間線量率測定のお手伝いからはじまり、2018年12月よりヤギ舎の清掃、獣害対策フェンスや放牧地の木柵設置、駐車場のシート張り等を実施しました。



ヤギ舎の清掃



獣害対策フェンスの設置



放牧地の木柵の設置



駐車場のシート張り



当社浜通り分析所



オープンに向けた空間線量率測定(広場内)【2021年4月】



試料採取(飲用水)



試料の分析



試料採取(敷料)



試料採取(ヤギ糞)

- 今後も交流人口の拡大に繋がるような取り組みのお手伝いを続けてまいります。
- コロナ禍で復興推進活動に従事が困難な福島県外の当社社員に対し活動の動画を作成しました。【2021年5月28日(金)】(参考動画) [https://www.tepco.co.jp/fukushima\\_hq/about/briefing/index-j.html](https://www.tepco.co.jp/fukushima_hq/about/briefing/index-j.html)

## 5. 福島復興へ向けた取り組み 環境再生・復興推進活動

### 「かわうち高原ドウダン祭り」の開催に向けた取り組み

#### 取組内容

- 川内村では、2021年6月13日に高塚高原において、村の花「サラサドウダン」を楽しむ催しが震災から10年振りに行われました。
- 川内村からの要請をいただき、「かわうち高原ドウダン祭り」の開催に向けた空間線量率測定や会場の除草・駐車場誘導のお手伝いを実施しました。



※個人被ばく線量の測定もあわせて実施

「かわうち高原ドウダン祭り」の開催に向けた歩行モニタリングの様子【2021年5月】



会場の除草



駐車場誘導

- 2019年の台風19号の影響もありましたが、震災以降10年振りのお祭り開催となりました。
- 地域の活性化やご帰還に繋がるよう、伝統行事の再開へ向けたお手伝いを続けてまいります。

## 5. 福島復興へ向けた取り組み 環境再生・復興推進活動

活動人数 累計100万人に到達

### 取組内容

- 東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故以降、当社は事故の当事者として被災された方々の帰還や復興に向けたお手伝いと、国・自治体による除染等の推進に向けた取り組みへの協力を実施してきましたが、この度2021年7月21日に活動人数が累計100万人に到達しました。

### 環境再生活動



### 復興推進活動



- コロナ禍の影響で2020年2月末より、グループ社員派遣を中断しておりますが、地域の皆さまにご相談のうえ、感染防止対策を徹底したうえで福島県内に常駐する社員のみで活動を継続させていただき、地域からのご要請には全数対応しております。

## 5. 福島復興へ向けた取り組み 環境再生・復興推進活動

### 「特定復興再生拠点区域」の避難指示解除に向けた取り組み

#### 取組内容

- 2022年春から2023年春にかけて「浜通り6町村（※）」の特定復興再生拠点区域の避難指示解除が予定されており、少しでも安心してご帰還いただくためにお手伝いを継続しています。

※ 「浜通り6町村」：葛尾村・大熊町・双葉町・富岡町・浪江町・飯館村



富岡町

町営住宅の屋内片付け【2021年11月】



大熊町

集合住宅の屋内片付け【2022年2月】



個人線量計

GPS



個人線量計とGPS装着イメージ

準備宿泊を希望される皆さまへ貸与するため、個人線量計を大熊町、葛尾村へ貸出【2021年11月・12月】

- 少しでも安心して帰還いただくために、当社としてこれまでの活動経験を活かしながらお手伝いを継続してまいります。

## 6. 福島復興へ向けた取り組み 環境再生活動

### 雑草抑制・景観向上のためのカバープランツ共同調査

#### 取組内容

- 除染・解体作業完了後の土地は、保全作業が行き届かない場合、雑草が繁茂し景観の低下のみならず、獣害問題の深刻化が懸念されています。
- 2020年10月より、浪江町と共同で地表を覆いつくすように生育するカバープランツによる雑草対策の調査を開始しました。



苗の植え込み作業風景【2020年10月】



開花の様子【2021年9月】



監視カメラの様子【2021年6月】

- 右下の写真ではミント系カバープランツを用いた獣害対策の効果を調査しています。これらの取り組みによる効果が高ければ、宅地や農地への展開も検討してまいります。

## 6. 福島復興へ向けた取り組み 環境再生活動

### 大熊町国道6号線の除染後の対応

#### 取組内容

- 環境省からの要請をいただき、2021年6月・7月に大熊町内の国道6号線において、除染後の空間線量率測定を実施しました。



除染後の線量測定の様子【2021年6月】



除染後の歩行モニタリングの様子【2021年7月】

- 一人でも多くの方にご帰還したいと思っただけのよう、様々な除染に関わる要請に対し人的・技術的協力をしてまいります。

## 6. 福島復興へ向けた取り組み 環境再生活動

### 大熊町における営農再開・環境再生に向けた取り組み

#### 取組内容

- 2021年3月に大熊町より要請をいただき、町内イベント等での活用を目的として、震災後初となる大熊町でのサツマイモの生産に向けたお手伝いをさせていただきました。
- 2021年4月に肥料散布、6月には獣害対策用の電気柵設置やサツマイモの苗植え、10月に収穫等のお手伝いを実施しました。



サツマイモの苗植えの様子【2021年6月】



サツマイモの収穫の様子【2021年10月】



収穫されたサツマイモ

- 当社の営農再開に関するノウハウ・経験を活かして、お手伝いさせていただきました。
- 今後も、復興のステージの移行に伴い、変化する地域のニーズをお伺いしながら、当社として何ができるか知恵を絞り、少しでも地域のお役に立てるよう、引き続き活動を進めてまいります。

## 7. 福島復興へ向けた取り組み 復興推進活動

### 新たな特産品づくりに向けた営農活動のお手伝い

#### 取組内容

- 地域のみなさまのご要望をお伺いしながら、地域の状況に応じた取り組みとして、復興の進む地域では「地域の特産品づくり」のお手伝いを実施しました。
- 当社は、これまでの活動で培ったノウハウや経験を活かして、春先の準備から収穫まで1年を通してお手伝いを実施しました。



苗植え【2021年6月】



サツマイモ収穫【2021年11月】



収穫されたサツマイモ

- 楡葉町では、サツマイモの一大産地化を目指して、2020年12月に「楡葉町甘藷生産部会」が設立され、昨秋、初めて収穫を迎えました。今後も地域の「特産品づくり」のお手伝いを継続してまいります。

## 7. 福島復興へ向けた取り組み 復興推進活動

### 新たな特産品づくりに向けた営農活動のお手伝い

#### 取組内容

- 地域の皆さまのご要望をお伺いしながら、地域の状況に応じた取り組みとして、復興の進む地域では「地域の特産品づくり」のお手伝いを実施しました。
- 当社は、これまでの活動で培ったノウハウや経験を活かして、春先の準備から収穫まで1年を通してお手伝いを実施しました。



葡萄園場整備【2021年6月】



葡萄選果【2021年10月】



収穫した葡萄

- 川内村では、2020年6月に「かわうちワイナリー」が開所され、以降、初めて収穫を迎えました。今後も地域の「特産品づくり」のお手伝いを続けてまいります。

## 7. 福島復興へ向けた取り組み 復興推進活動

### 夏季の取り組み・学校運営に係る取り組み

#### 取組内容

- お盆・お彼岸に向けた墓地の除草作業を、2013年から毎年継続的に実施しておりますが、コロナ禍の影響により関東圏からの社員派遣を中断する中、福島県内に常駐する社員で地域の皆さまのご依頼に対応しました。
- その他、夏季の取り組みとして、学校の授業に合わせたプール清掃や環境美化活動のお手伝いを実施しました。



大熊町

除草作業【2021年8月】



双葉町

除草後の集積【2021年8月】



南相馬市

小高中学校プール清掃の様子【2021年6月】



川俣町

山木屋中学校の花植え【2021年6月】

- 墓地除草では、住民の皆さまや避難先からお越しになる方が、安全にお墓参りができるよう、墓石周りは剪定ばさみや手鎌を使用し丁寧に作業しました。
- 中学校での花植えのお手伝いでは、当社メンバーの顔まで覚えていただけました。

## 7. 福島復興へ向けた取り組み 復興推進活動

### 自治体式典のお手伝い

#### 取組内容

➤ 浪江町立請戸小学校が「震災遺構」として整備されるにあたり、開館に向けたお手伝いを実施しました。

- 東日本大震災から10年半を迎え、震災の脅威や教訓、地域の記憶や記録を後世に伝えるとともに防災意識の向上に向け、県内唯一の震災遺構として一般公開が開始されました。
- 当社は、浪江町からの要請により、請戸小学校の清掃・什器搬出や周辺除草を継続してきました。
- 2021年10月24日の開館当日は、記念式典に参加される方々が使用される臨時駐車場の車両誘導のお手伝いを行いました。



浪江町立請戸小学校



清掃・什器運搬



駐車場車両誘導



開館記念式典の様子

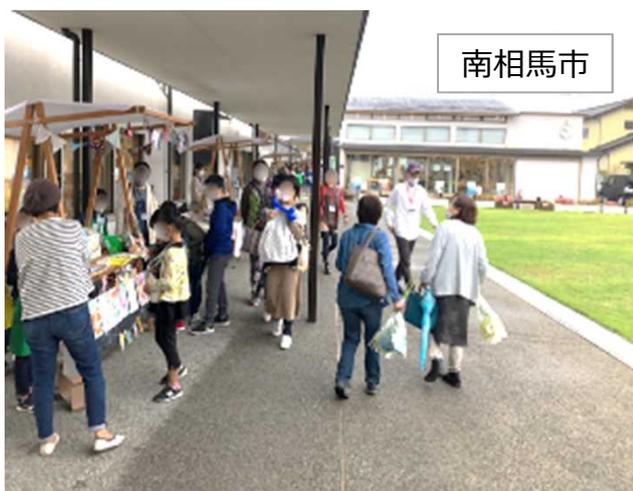
➤ 清掃活動の時に、学校関係者の方から「子供たちが帰ってくる場所は、ここしかありません。今も子供たちの母校は請戸小学校です」とのお言葉を伺いました。あらためて、福島への責任を果たしていくため、当社として何が出来るか知恵を絞り、地域に根ざした活動を行ってまいります。

## 7. 福島復興へ向けた取り組み 復興推進活動

### ～秋のにぎわい～ 各地域イベントのお手伝い

#### 取組内容

- 秋空の下「伝統芸能の舞」や「秋の実りを祝うイベント」などが各地で開催され会場は多くの来場者で賑わいました。
- 当社は、ブースの出店や、イベント会場の準備、運営補助、駐車場誘導のお手伝いを実施しました。



南相馬市

小高つながる市  
【2021年10月16日】



葛尾村

葛尾大尽屋敷「能・狂言」  
【2021年11月3日】



川内村

第7回かわうち祭り-秋の陣-  
【2021年11月7日】



大熊町

紅葉の坂下ダムウォーキング  
【2021年11月28日】

- 新型コロナが多少落ち着きを見せ、地域イベントも再開されてきました。
- 地域イベントをきっかけに、地域コミュニティが活性化され、交流人口の拡大に向けた取り組みに少しでも協力できるよう、取り組みを継続してまいります。

## 7. 福島復興へ向けた取り組み 復興推進活動

### コミュニティ再生に向けたお手伝い～大熊町・双葉町～

#### 取組内容

- 特定復興再生拠点区域の一部が避難指示解除を迎える大熊町・双葉町において、新年イベントが開催されました。
- 一人でも多くの住民の皆さまのご帰還につながるよう、これからも皆さまのご要望に耳を傾け、地域コミュニティづくりのお手伝いをさせていただきます。

#### ■大熊町「里がえり もちつき大会」【1月9日（日）】



餅つきの様子



くじ付き餅撒き

#### ■双葉町「双葉ダルマ市2022」【1月8日（土）・9日（日）】



双葉町の現在の風景・復興推進  
活動紹介のブース出店



双葉町 ダルマ販売の様子

- 大熊町のイベントでは、地域の復興に携わる方々が一体となった「おおくまコミュニティづくり実行委員会」に当社社員も参加させていただきました。
- 左下の写真の当社ブースでは、復興の状況を見て双葉町に戻りたくなったとの声もありました。

## 7. 福島復興へ向けた取り組み 復興推進活動

### ～川俣町「絹の里やまきやスケートリンク」のお手伝い～

#### 取組内容

- 「川俣スケートクラブ」さま(\*)からのご依頼により、当社は、2021年11月から2022年2月にかけて、川俣町山木屋地区にある「絹の里やまきやスケートリンク」で、リンク整備やスケート場運営のお手伝いを行いました。
  - 小中学校のスケート教室では、低学年児童が安全にスケートを楽しめるよう、スケート靴の紐を結んだり、リンクまで手を引くなどのお手伝いを行いました。
- (\*)「川俣スケートクラブ」: 川俣町スポーツ協会に所属し、川俣町から委託を受けスケートリンクの管理・運営を行っている地域住民の有志団体



リンク整備の様子（夕方から水撒き）



リンク整備の様子（降雪時にリンク上の雪かき）



ソリのように加工した椅子で滑る子供達



スケート教室の様子

- 小さい氷(雪)は大きい氷(スケートリンク)より早く溶けるため、リンク表面の雪がリンクの氷を溶かしてしまい、再氷結するとリンクが凸凹になるので、降雪後急いで雪かきをします。
- 歴史あるスケートリンクの文化を継承することにより、地域に賑わいを作りたいというご依頼者さまの思いを受け止め、今後も地域の皆さまが集う場所をつくるお手伝いを継続してまいります。

## 8. 福島復興へ向けた取り組み 流通促進活動



百貨店やスーパー等での「ふくしまフェア」の定期開催 ※2021年度催事開催日数7,705日

### ■ 水産品の販売催事



シアル鶴見様の様子【2021年4月24日】



小田急百貨店ふじさわ様の様子【2021年8月6日】

### ■ 牛肉の販売催事



シャポー市川様の様子【2021年10月15日】



ニュー・クイック新越谷ヴァリエ様の様子【2022年1月19日】

- 実際に福島県産品の美味しさを知って、リピート購入されるお客さまも増えてきました。ふくしまフェアの開催店舗は確実に増えており、更なる福島ファンの獲得に向けて取り組んでまいります。

## 8. 福島復興へ向けた取り組み 流通促進活動



百貨店やスーパー等での「ふくしまフェア」の定期開催 ※2021年度催事開催日数7,705日

### ■ お米の販売催事



シャポー船橋様の様子【2021年10月29日】



大丸東京様の様子  
【2021年11月16日】

### ■ 桃の販売催事



東武百貨店様の様子【2021年7月29日～8月4日】



スズラン百貨店様の様子【2021年7月30日】

【トピック】 東京五輪で話題となった「福島県産の桃」を、JA全農福島様から大使館へ贈呈されました。  
※贈呈にあたり、当社が大使館との調整をさせていただきました。



オーストラリア大使館への贈呈の様子



ドミニカ共和国大使館への贈呈の様子

## 8. 福島復興へ向けた取り組み 流通促進活動



### キッチンカーを活用した特別メニューの提供

- 様々な場所で福島県産食材の美味しさや魅力を直接PRするため、2021年9月よりキッチンカーでの出店・販売を開始しました。
- 販売実績 10,290食(2021年度)



キッチンカー外観

※メニュー写真はイメージ



常磐もの あんこう贅沢セット



幻のなめらかプリン  
無添加おおくまベリー掛け



肉厚あんこうと会津味噌タルタルの  
究極フィッシュバーガー



福島牛×常磐カレイのブラックカレー



SOMPOケア様施設での様子【2021年12月11日】



クイーンズ伊勢丹武蔵境店様での様子  
【2022年2月17日】

- キッチンカーは周辺地域の皆さまにも大好評をいただいています。引き続き、キッチンカーの機動性を活かして、首都圏各地で福島県産食材の美味しさをPRしてまいります。

## 8. 福島復興へ向けた取り組み 流通促進活動



「発見! ふくしま」キャンペーン オープニングイベントの開催 (2021年10月2日~3日)

- 毎年秋に開催している「発見! ふくしま」キャンペーンのオープニングイベントを、有明ガーデン(東京都江東区)にて開催しました。
- 福島県産食材を使用したキッチンカーによるメニュー提供やマルシェを実施しました。



会場の様子



県産品マルシェ



キッチンカー販売

➤ 公式アンバサダー 箭内夢菜さんも参加して大盛況でした。

## 8. 福島復興へ向けた取り組み 流通促進活動



新米イベントの開催（2021年11月3日～4日）

- 二子玉川ライズ ガレリアにおいて、JA全農福島様、南相馬市様と協力し、浜・中・会津(三地域)の「新米」をパッケージ販売しました。
- 来場者実績 約10,000人(2日間合計)



会場の様子



キッチンカーの出店風景とメニューの一部



新米三種パッケージ（写真右）  
左から、こしひかり（会津産）・こしひかり（須賀川産）  
天のつぶ（南相馬産）



南相馬市様による伝統行事「相馬野馬追」のPR



南相馬市様の観光情報を展示

➤ 二子玉川を訪れた多くの方々に福島のお米をPRすることができました。

## 8. 福島復興へ向けた取り組み 流通促進活動



お魚まつりの開催(2021年11月19日～21日)

- 日比谷公園(東京都千代田区)において“常磐もの”のPRイベントを実施しました。
- 8つのブースを出店し、常磐ものと福島県産米を使った12種類のメニューを販売。
- 販売実績 2万食以上、日本酒飲み比べセット3,000セット



開会セレモニーの様子



会場の様子



バグロとヒラメの常磐もの丼



イカスミのパエリア



さんまの塩焼き



福島県産の日本酒販売



浜通りのご当地キャラクターも参加  
(左から：うけどん、フラおじさん、のまたん)

➤ ご来場いただいた多くのお客さまに福島県産食材の美味しさをPRすることができました。

## 8. 福島復興へ向けた取り組み 流通促進活動



巨大キッチンカーキャラバンの開催（2022年3月3日～6日）

- ビジネス街の人気ランチスポットや商業施設等(全7カ所)へ、こちらから出向いて常磐ものを中心とした5種の海鮮丼を販売しました。
- 販売実績 6,600食



イオンモール多摩平の森の様子【2022年3月5日】



全部盛り (メガ)



全部盛り (普通)

※メニュー写真はイメージ



シラウオ・ネギトロ・イクラ3色盛り



ヒラメとメイプルサーモン2色盛り



メイプルサーモンとイクラ親子盛り



TOKYO TORCH Parkの様子【2022年3月3日】



横浜赤レンガ倉庫の様子【2022年3月6日】

- 巨大キッチンカーは外観も目立ち、集客効果抜群です。多くのお客さまに「常磐もの」の美味しさを味わっていただきました。

## 8. 福島復興へ向けた取り組み 流通促進活動



東京下町“三大銀座”お弁当ジャックの開催(2022年3月24日～27日)

- 東京下町“三大銀座”と呼ばれる「戸越銀座(品川区)」・「砂町銀座(江東区)」・「十条銀座(北区)」において、福島県産食材を使用したお弁当を販売しました。
- 販売実績 6,650食



十条銀座商店街の様子



ウニ貝焼きカニみそ飯弁当



福島牛のウニ、カニみれ弁当

※メニュー写真はイメージ



穴子重弁当



ほっき飯とほっきグラタン弁当



さんまのポーポー焼き入り小名浜名物弁当



戸越銀座商店街の様子



砂町銀座商店街の様子

- お客さまからは「常磐ものの美味しさを知ることが出来て良かった!」との声を多数いただきました。引き続き、コロナ禍に対応した企画を検討してまいります。

## 8. 福島復興へ向けた取り組み 流通促進活動



福島県産品オンラインサイト「ふくしま市場」でのキャンペーン開催

- 福島県産品の通販サイトとして最大級の「ふくしま市場」と連携して、2回の購入促進キャンペーンを実施しました。
- 春・夏には「桃」、秋・冬には「新米」を中心に、「福島牛」や「水産品」など、日本全国のお客さまより、多くの商品をお買い求めいただきました。



春・夏キャンペーン【2021年6月1日～8月31日】



秋・冬キャンペーン【2021年11月1日～12月17日】

## 8. 福島復興へ向けた取り組み 流通促進活動



### 福島県産品の取り扱い量拡大に向けた理解活動

- 首都圏の流通関係者や小売・飲食店関係者の方々を中心に、福島第一原子力発電所の現状などをご説明しています。
- 希望者を対象に福島県内での「視察会」も実施し、取り扱い量拡大を目指しています。



意見交換風景【2021年6月11日】



意見交換風景【2021年7月1日】



現地視察会風景【2021年11月30日】 ※左から 相馬原釜漁港、酒造メーカー、廃炉資料館



バイヤーズ商談会への参加【2021年11月16日】

## 8. 福島復興へ向けた取り組み 流通促進活動



ふくしま応援企業ネットワーク(2014年11月発足) ※当社が事務局を務める

- オンラインを活用した「連絡会」、「現地視察会」の開催、動画のライブ配信による福島県産品の紹介・販売、会員企業様向けの「マルシェ」開催、「ふくしま弁当」販売など様々な活動を実施しました。



オンラインを活用した会員企業様との連絡会の開催



事務局の運営風景  
【2022年3月24日】



オンライン視察会の実施風景、動画のライブ配信での商品紹介と販売【2022年3月10日 カネヨ水産様】



ふくしま弁当



前田建設工業様でのマルシェ開催【2021年11月21日】

“ふくしま応援企業ネットワーク”とは  
福島県の風評被害払拭へ貢献しようという志を持った企業に参画いただいております。  
会員企業数は2022年3月末現在171社。  
各社が創意工夫して、福島県産品の積極的な購入や県内施設の利用促進を図りながら、情報交換と活動の輪を広げています。



ホームページ

## 8. 福島復興へ向けた取り組み 流通促進活動

### 福島県産品販売促進活動(社内)

- 社員一人ひとりが福島県産品の購入をするよう、各事業所で福島県産品の社内販売会を実施しています。



群馬総支社の販売風景



埼玉総支社の販売風景



渋谷支社の販売風景

- 福島県産の酒、米、野菜、果物、魚介類、肉、麺類、加工品、菓子類などを販売しました。
- コロナ禍のため入室人数の制限や事前予約制での販売会開催となりました。

## 9. 原子力損害賠償に関する取り組みの概要

### 迅速かつ適切な原子力損害賠償に向けた組織体制

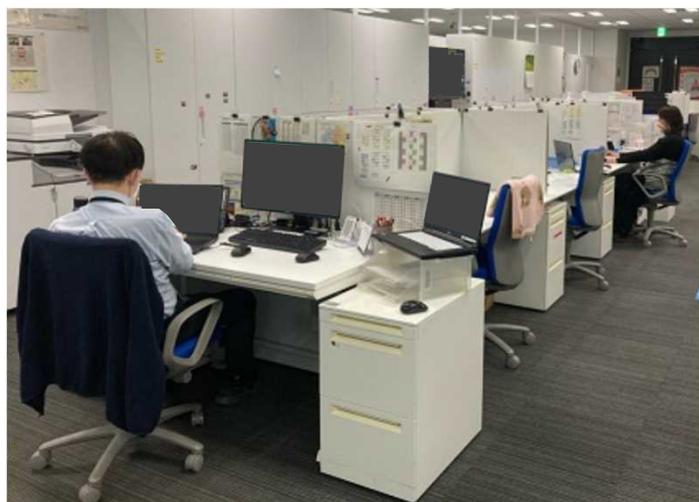
- 引き続き「3つの誓い」を徹底し、被害者の方々により丁寧に対応しながら、原子力事故による損害に対して、迅速かつ適切な賠償を進めてまいります。
- 今後も、被害者の方々へきめ細やかな賠償を実施するため、体制の整備、対応の改善を図ってまいります。

### 補償相談センター



- 賠償に関する説明会・相談対応、ご請求書の作成支援、受付など実施しています。
- コロナ禍のためリモートによるご相談も実施しております。（一部窓口で試験実施中）

### 補償相談コールセンター



- 賠償に関する問い合わせ・ご相談対応など実施しています。

## 10. 雇用創出等福島復興に資する取り組み

### 構築した事業会社を通じた世界最新鋭の石炭火力発電所の建設・運営

- 2016年10月、三菱商事パワー(株)、三菱重工業(株)、三菱電機(株)、常磐共同火力(株)と当社の5社にて「勿来IGCCパワー合同会社」※1と「広野IGCCパワー合同会社」※2による、発電所の建設・運営を実施する事業体制を構築しました。
- 同事業を通じ、建設工事・資材発注および運用後の定期点検などによる産業基盤の創出の推進に貢献いたします。

※1 5社が出資(勿来IGCCマネジメント株[途中名称変更]、三菱重工業株、三菱電機株、東京電力ホールディングス株、常磐共同火力株)

※2 4社が出資(広野IGCCマネジメント株[途中名称変更]、三菱重工業株、三菱電機株、東京電力ホールディングス株)



# 10. 雇用創出等福島復興に資する取り組み

## 中小経年水力発電所の設備改修

■「新・総合特別事業計画」(2014年1月公表)に基づく福島県内の中小経年水力発電所の継続的設備改修を通じた福島復興に資する取り組みの状況

### 「金川発電所」

- 所在地：喜多方市塩川町
- 改修内容：発電設備の撤去・新設
- 最大出力：6,500kW ⇒ 7,100kW
- 工事着工：2017年 9月
- 運転開始：2019年10月

■ 県内雇用 6,246[人・日]  
■ 資機材調達 約5,200[万円]



<既設の発電所建屋（工事なし）>



<改修後の発電機>

### 「日橋川発電所」

- 所在地：会津若松市河東町
- 改修内容：発電設備の撤去・新設  
建屋の撤去・新設
- 最大出力：10,600kW ⇒ 11,000kW
- 工事着工：2016年 8月
- 運転開始：2021年 7月(全3台)

■ 県内雇用 16,965[人・日]  
■ 資機材調達 約18,100[万円]



<改修後の発電所建屋>

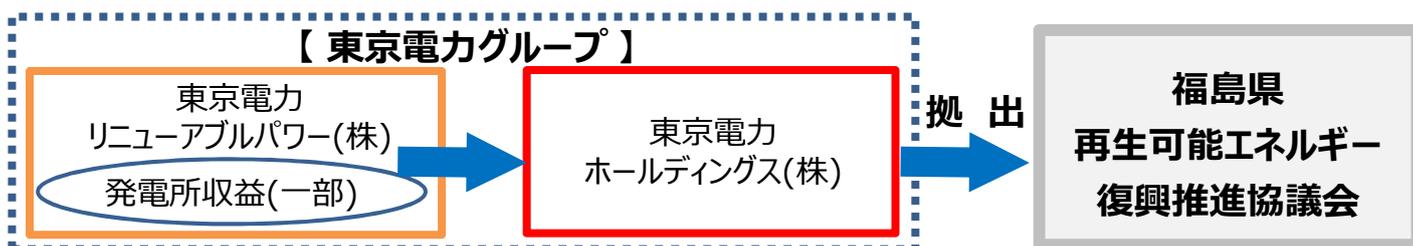


<改修後の水車>

# 10. 雇用創出等福島復興に資する取り組み

## FIT制度適用に伴い得られた収益の一部拠出

- 改修後の発電所においてFIT制度※1適用に伴い得られた収益の一部を教育・医療等の分野で福島復興の取り組みにご活用いただきたく、2021年7月「福島県再生可能エネルギー復興推進協議会」様に710万円を拠出しました。
- 2021年度は、金川発電所(2019年10月運転開始:7,100kW)で得られた収益からの拠出であり、その後20年間にわたり、同発電所分として毎年同額の拠出を予定しています。さらに、2022年度からは、日橋川発電所(2021年7月に全3台運転開始:合計11,000kW)分として、同協議会様へ毎年1,100万円、20年間の拠出を予定しています。



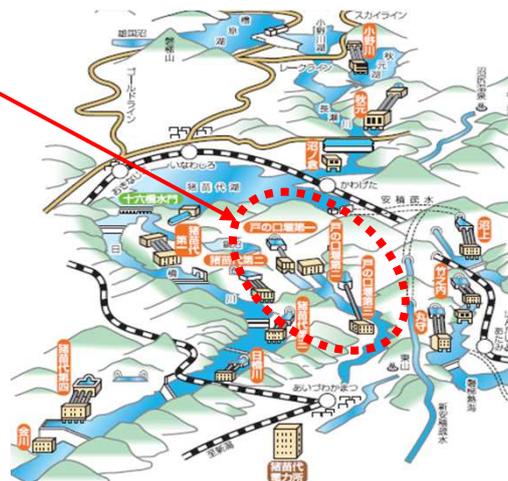
※1 再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が一定価格で一定期間買い取る制度

## 戸の口堰第一・第二・第三発電所の設備改修工事の着手

- 戸の口堰第一・第二・第三発電所の設備改修工事に2021年8月より順次着手し、改修工事を通じて雇用機会の創出や県内事業者からの資機材調達を推進します。
- いずれの発電所も2022年度下期以降の運転開始を予定しています。

### 改修工事の概要

- ◆ 発電設備の改修
  - ✓ 既設発電設備の撤去
  - ✓ 新発電設備の据付 (改修前後の最大出力)
    - ・ 戸の口堰第一: 2,080kW ⇒ 1,490kW
    - ・ 戸の口堰第二: 850kW ⇒ 630kW
    - ・ 戸の口堰第三: 1,400kW ⇒ 940kW
- ※現在の河川水量に合わせて最大使用水量を見直し、最適な発電機容量(最大出力)に変更
- ◆ 発電所建屋の建替え
  - ・ 戸の口堰第一: 建物建替
  - ・ 戸の口堰第三: 上屋撤去、半地下式に変更



<戸の口堰第一発電所>



【予定】

着工:2021.8/運転開始:2023.5

<戸の口堰第二発電所>



着工:2021.8/運転開始:2023.1

<戸の口堰第三発電所>



着工:2021.10/運転開始:2023.3

# 11. 東京電力廃炉資料館

## ■ 設置の趣旨

発電所周辺地域をはじめとした福島県の皆さま、そして国内外の多くの皆さまが、原子力事故の事実と廃炉事業の現状等をご確認いただける場として、「東京電力廃炉資料館」を当社施設である「旧エネルギー館(福島県双葉郡富岡町)」に設置いたしました。

## ■ 施設の概要

- 名 称 : 東京電力廃炉資料館
- 所 在 地 : 福島県双葉郡富岡町中央三丁目58番地 (旧エネルギー館)
- 開 館 : 2018年11月30日
- 建 物 概 要 : 【階層】2階建 【展示面積】約 1,900㎡
- 施 設 情 報 : 【開館時間】9:30~16:30 【休館日】毎月第3日曜日・年末年始  
【入館料】無料 (駐車場無料)



「東京電力廃炉資料館」の外観

## ■ 施設の外観



# 11. 東京電力廃炉資料館

## ■ 施設の内観



## ■ <プロローグ>

## ■ <記憶と記録・反省と教訓>

原子力事故を振り返り、その反省と教訓



## ■ <廃炉現場の姿>

廃炉事業の全容と最新の現場の状況を展示

福島復興への取り組み、原子力や放射線等の情報をご覧いただけます



## 12. 福島復興へ向けた活動実績

### < 除染等推進活動・環境再生活動 >



### これまでの実績（2022年3月末時点）

※ 福島復興本社設立（2013年1月）以降の実績

項目	内容	対応人数実績
除染（国直轄・市町村）への対応	除染作業現場における工事管理業務等への対応、除染後のフォローアップ業務への対応等	約238,500人
中間貯蔵への対応	輸送への対応、除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入に関わる業務への技術的支援等	約153,100人
廃棄物・リサイクル等への対応	廃棄物・リサイクル処理の推進への人的・技術的支援等	約26,100人
環境回復・コミュニケーションへの対応	放射線不安の低減に向けたモニタリングへの対応、農林業再開に向けた測定・分析支援等の技術サポート等	約33,500人
その他	技術開発関連、除染に係る検討・提案等	約40,900人
合計		約492,100人

### 至近1年（2021年度）の実績（2022年3月末時点）

項目	内容	対応人数実績
除染（国直轄・市町村）への対応	除染作業現場における工事管理業務等への対応、除染後のフォローアップ業務への対応等	約16,100人
中間貯蔵への対応	輸送への対応、除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入に関わる業務への技術的支援等	約18,300人
廃棄物・リサイクル等への対応	廃棄物・リサイクル処理の推進への人的・技術的支援等	約5,800人
環境回復・コミュニケーションへの対応	放射線不安の低減に向けたモニタリングへの対応、農林業再開に向けた測定・分析支援等の技術サポート等	約5,300人
合計		約45,500人

## 12. 福島復興へ向けた活動実績

### <復興推進活動>



### これまでの実績（2022年3月末時点）

※ 福島復興本社設立（2013年1月）以降の実績

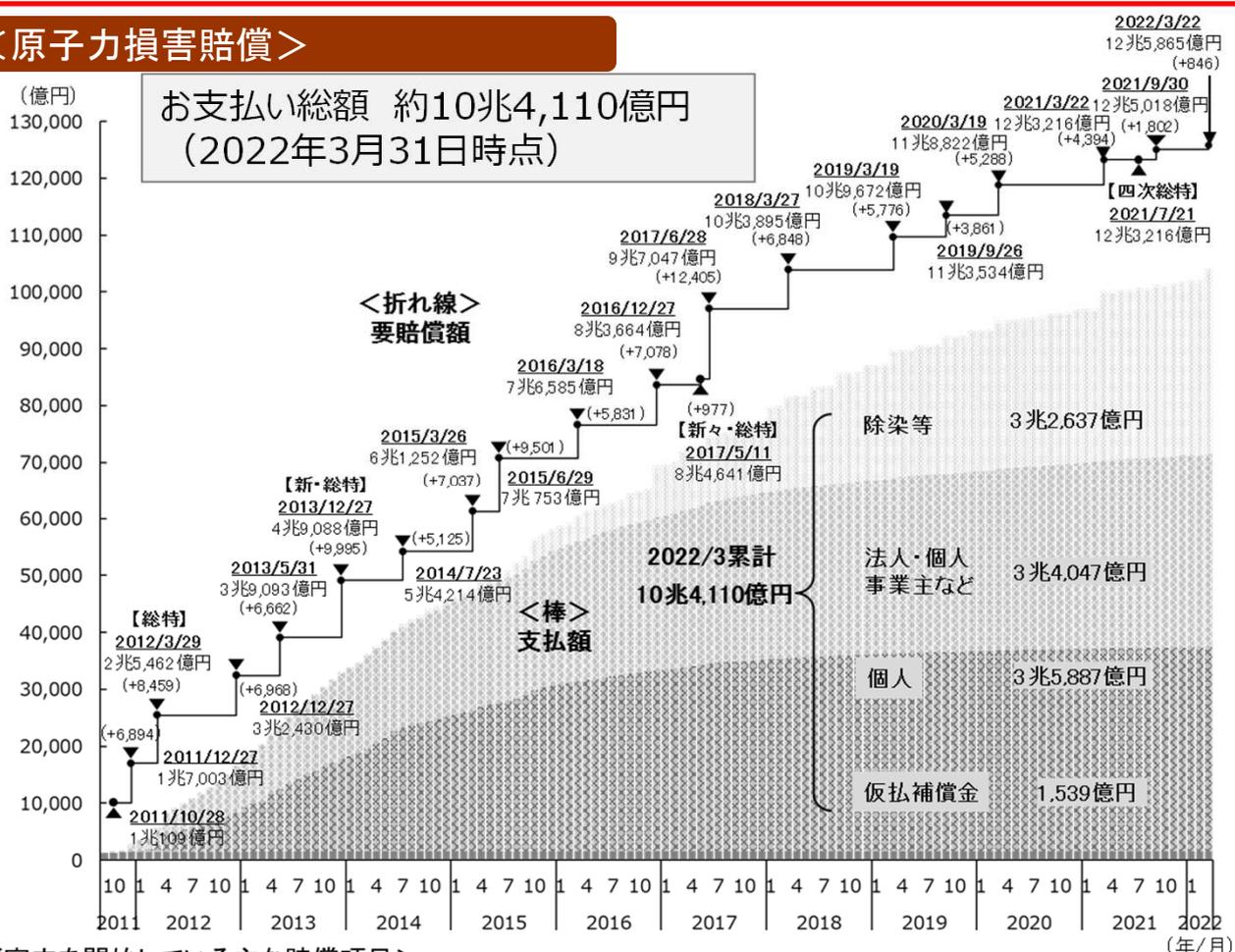
項目	内容	対応人数実績
除草作業	住宅等への進入路・墓地・公共施設等の除草	約214,800人
清掃・片付け	住宅・公共施設等の清掃・片付け	約134,300人
イベント	イベント対応等	約19,900人
一時帰宅対応等	一時帰宅対応、住民スクリーニング、測定対応等	約108,000人
営農再開等に向けた対応	さつまいも栽培支援、ワイン用葡萄圃場支援、電気柵設置等	約25,400人
その他	お声かけ・訪問活動 等	約48,400人
合計		約550,800人

### 至近1年（2021年度）の実績（2022年3月末時点）

項目	内容	対応人数実績
除草作業	住宅等への進入路・墓地・公共施設等の除草	約8,500人
清掃・片付け	住宅・公共施設等の清掃・片付け	約1,600人
イベント	イベント対応等	約800人
一時帰宅対応等	一時帰宅対応、住民スクリーニング、測定対応等	約3,900人
営農再開等に向けた対応	さつまいも栽培支援、ワイン用葡萄圃場支援、電気柵設置等	約2,500人
その他	お声かけ・訪問活動 等	約1,700人
合計		約19,000人

# 12. 福島復興へ向けた活動実績

## <原子力損害賠償>



### <ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月: 個人本賠償 〔精神的損害・就労不能等に伴う損害・検査費用・避難・帰宅、一時立入費用・生命、身体的損害等〕	9月: 法人本賠償 〔営業損害・出荷制限指示等による損害・風評被害・間接損害等〕
2012年	2月: 自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月: 建物の修復費用等に係る賠償	2月: 自動車に対する賠償 12月: 償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月: 宅地・建物・借地権等に係る賠償、家財の賠償 11月: 田畑に係る賠償	3月: 宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月: 田畑に係る賠償
2014年	1月: 精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月: 移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償、仏壇の賠償 4月: 住居確保に係る費用の賠償 7月: 墓石等の修理に係る賠償 9月: 宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償、自主的除染に係る費用の賠償	9月: 宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月: 家財の個別賠償 3月: 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月: 墓石等の移転に係る賠償 6月: 避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月: 避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月: 新たな営業損害賠償等
2016年	2月: 住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月: 農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月: 住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月: 平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月: 移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月: 2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月: 2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月: 住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月: 消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

## (参考) 福島復興へ向けた取り組み “アーカイブページ” のご案内

- 過去代表定例会見でお知らせした内容は、当社ホームページ内にある“福島復興本社専用ページ”からご覧いただけます。

### ① インターネットから下記キーワードで検索

東京電力 福島復興への責任



### ② 福島復興本社のホームページからご覧いただく項目(③～⑤)を選択

The screenshot shows the TEPCO website with the following elements:

- Navigation tabs: 福島復興への責任 (selected), 賠償, ③ 環境再生, 復興促進, 福島復興本社について
- Content sections: アーカイブ(環境再生・復興推進) (with a hand icon pointing to it), ④ 公表資料・動画※ (with a hand icon pointing to it)
- Text on the right: ※流通促進活動の過去公表している事例は各公表資料をご確認ください
- Bottom text: 福島復興への責任を果たすために

The screenshot shows the following sections:

- 動画でみる福島復興の取り組み (with a hand icon pointing to it)
- 福島県産品の美味しさ・魅力をお伝えします (with a hand icon pointing to it)
- ⑤ 福島県産品の流通促進に向けた取り組み (イベント情報・県産品の魅力発信) (with a hand icon pointing to it)
- 東京電力廃炉資料館 (with a photo of the building)
- 外部リンク
- ふくしま応援企業ネットワーク (with a red box around the text)
- 原子力事故の影響による福島県の風評被害払拭へ貢献しようという志を持った企業の連絡協議会です。

## (参考) 福島復興へ向けた取り組み “アーカイブページ” のご案内

### ③ アーカイブ：復興本社設立以降の活動を年ごとに整理されたページで確認

### ④ 公表資料・動画：代表定例会見の過去の公表資料・会見の様子を確認

### ⑤ 福島県産品の流通促進に向けた取り組み：最新のイベント等を確認



本写真集の一部をインターネット上に掲載するなど、他の媒体に転載することは、当社の著作権の侵害になるとともに、被写体の肖像権（人格権）の侵害となるおそれがあります。ご使用になる際は、当社へご相談下さい。